

2001 ぐすのき

VOL.12

樟樹

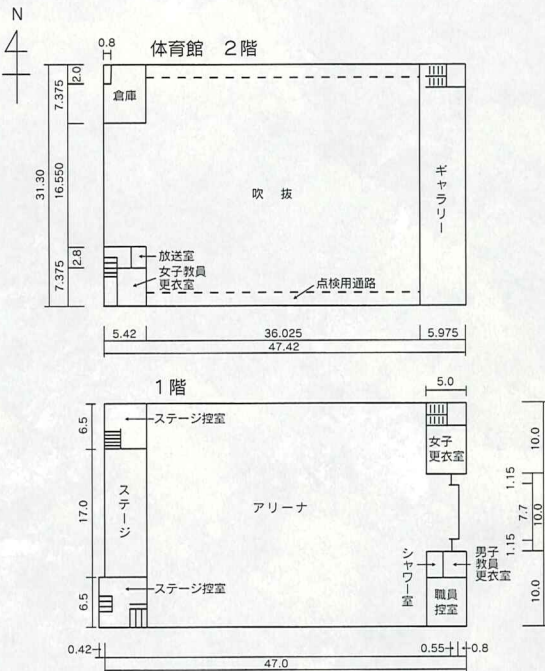
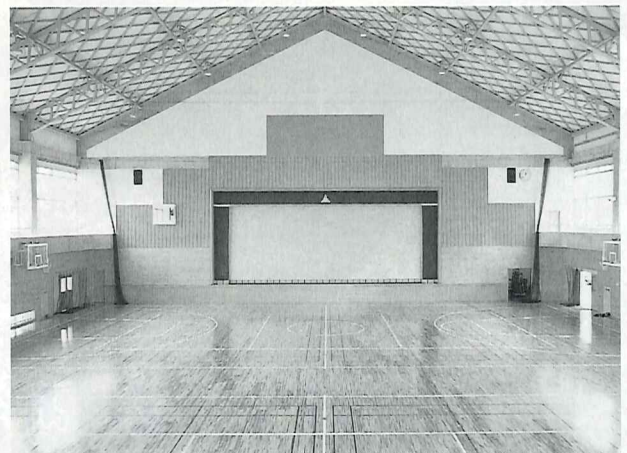
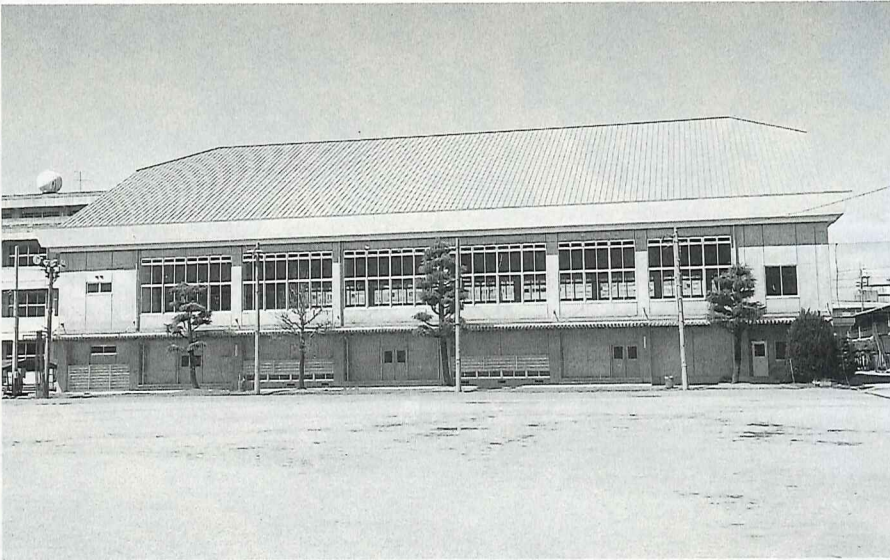
樟樹会 馬尾洪西馬尾學校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存じですか？

第 2 回

体育館が新しくなりました

本年4月9日真新しい体育館で新入生を迎え入れる「入学式」が行われました。同窓生の皆さんが、多くの思い出を創った旧体育館が、昨年の夏休みに取り壊され、平成12年9月8日に着工し、平成13年3月22日に新しい体育館が完成しました。ここに新体育館の紹介をさせていただきます。



建築面積 16,669㎡

表紙題字は、檜崎一光老師
写真は、一宮神社の一番樺
(撮影：田尾忠士氏)

心を鍛える



樟樹会会長

長野 文彦

昨今の我国の経済状況を指して「失われた10年」と言われます。この言葉は経済の低迷を示す以上に私たちの精神的な空洞状況を反映していると多くの研究者が説明しています。

新しい年に何か変化の気配が出てくるものと、ひそかに期待している者の一人ですが目につくのは制度改革のようなハード面のみで精神的な方面での新たな方向を指し示す気配が感じられません。我が母校は県下でも有数の進学校であり、誇るべき伝統を持っています。地域のエリートを養成し社会へ送り出すという大きな役割を担っているわけです。私にも経験がありますが、在学中はややもすれば勉学に追われる日々を過ごすこととなります。しかし新しい時代に生きる後輩たちの将来を思うとき、精神的な強さと逞しさを兼ね備えることを目指す人間教育

に人材育成の力点をシフトしなければならぬと思わずにはおられません。教職員は勿論のことPTAや同窓会も機会があることに後輩たちとの交流を深めながら世代を超えて互いを理解しあえる環境が学校生活に醸成されることを期待しています。



教育改革の中で



校長

南 武夫

機関紙「樟樹」の発行も第12号を迎えました。これもひとえに同窓会の皆様方のご努力の賜物と、衷心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年度末のサッカー部の全国選手権大会出場に際しましては、同窓生各位より物心両面にわたり、温かい御支援を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。1回戦で強豪武南高校に敗れはいたしました。が、さわやかな応援とともに新居浜西高の名を全国に披露できたのではないかと思っております。

今教育の世界は、来年度から実施される学校完全週五日制の下で、「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し、生徒に自ら学び考える「生きる力」をどう育成していくか、真剣に模索している最中であります。西高では「特色ある学校づくり」として、普通科では進学体制の確立、家庭科では調理を中心とす

る家庭科教育の充実を目指しております。その一環として今年度より従来の3学期制を廃して、4月1日～9月30日を前期、10月1日～3月31日を後期とする2期制を採用いたしました。

同窓生の皆様が築かれた自主自律の精神を受け継ぎ、生徒たちは学業に、また部活動に明るく勤しんでおります。しかし時代の波を受け、多様化しつつあるのも事実です。昨今の風潮は、努力やまじめということが軽んじられ、安逸に流れる傾向があります。文武両道の伝統を継承し、高い目標に向かって日々努力精進する西高生が育つ学校づくりに全教職員が丸となって取り組んでいく所存です。よろしくご支援の程お願いいたします。終わりになりましたが、皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念して、ごあいさついたします。

～サッカー特集～

第79回 全国高校サッカー選手権大会



本校サッカー部

昭和35年創部
 大会出場時部員数 31人
 顧問 渡辺 俊哉 (42)
 (数学)
 監督 伊藤 栄一 (41)
 (保健体育)

7番 川上：ボランチ、攻守の要
 10番 多々羅：ゲームメーカー

進学校なので例年3年生が少ないが、今年は昨年準優勝の悔しさを胸に7人の3年生が残った。県大会無失点のDF陣は、3バックシステム。
 受験勉強の為、ほとんど練習試合が組めない。

セルジオ越後の選手権ジャッジ

という原点を思い出させてくれる、新世紀への象徴的な大会だと私は思う。あれつ、名門が消えている、派手さがなくなっている人もあるが、短絡的だ。朝鮮高級学校の初参加も、W杯前の歴史的なドラマだ。

——帝京、室蘭大谷、四中工といった名門の

アマチュアの誇り見なおす大会に

セルジオ越後
 南は宮古、初出場や、珍しい顔が目立ちます

北は旭川、欠落はプロ志向のせい
 優秀な高校生がクラブチームになだれ込んで、高校が空洞化し始めたのは事実。ただ、これは高体連だけの問題ではない。選手が1つのチームでしかプレーできない、古いシステムのせい。

アマのサッカー協会とプロのJリーグが、この問題にけじめをつけていない。
 ——しかし、サッカーのドラマは、選手個々の技術レベルだけで決まるものではないです。高体連がサッカー独自の価値を忘れてはならないと思います

え、「これだ！」と感動した場面があったんだ。

後藤新弥

名門消え派手さないは短絡的

日刊スポーツ 2000年(平成12年)12月29日 左に転載

夏の夜はBeerで乾杯!
**ビアホール
 オーブン**



期間 5月10日(木)▶8月12日(日)
 営業日 5月、6月は(木)・(金)・(土)曜日のみ営業致します。
 7月1日から8月12日の間は無休で営業します。

レーイ グラツェ **ふじ**
 (旧 ふじ結婚式場) 藤田 修生
 新居浜市高木町3-21 (0897) 34-2211 (昭和45年)

応援団同行記

12月30日早朝6時、外は暗く寒い。西高正門前では応援に参加する生徒やOBたちが「忘れ物はないか」「雨は降らないかな」などといわいわいやっている。

全員そろったところで出発。28日選手団が、JRで東京へむかった。29日の夜、父母の会のバスが1台そして今朝は4台、総勢200人の応援団が、後を追う。

外の寒さを忘れるほどバスの中は暖かく、大人たちは熱い。

川之江インターを過ぎた頃からようやく空が白み始めてきた。

生徒たちが乗った3台のバスの中は、さながら修学旅行のようだろうと想像しながら、1番前の席に座った私は、後ろを振り返り向いた。

若かりし頃は、母校のグラウンドでサッカーボールを蹴って汗していただろうOBの人たちは、にぎやかで楽しそうに話している。

これもミニチュア修学旅行のようだ。遠く川之江からの一般参加で、サッカーのコーチをしているお父さんと小学生のお嬢さんや、サッカーファンの家族4人の姿もある。

サッカーを通じて人と人とのネットワークが広がっていくのが、興味深い。

サービスエリアなどで休憩や、昼食をとりながら、応援バスは高速道路を一路、東京へ。

今夜の宿泊は「両国パールホテル」。

両国といえば、おすもうさん。(力士に会えるかな?)と期待しながら、窓の外を眺めているうちについウトウト。

「わー、富士山」まるで額縁の中に取まったような雄大で美しい山が目の前に、あった。

場所はところどころ雪の積もる(富士川サービスエリア)。

なかなか全景を現わすことのない富士山を見て感激。そしてホテルに到着。

翌日、東京の大晦日は平日と変わらない風景。

予定より早く10時には浦和市駒場スタジアムに着いた。

西ゲート入り口で、入場チケットを手に西高応援の人たちを迎える。



すぐ横のグラウンドでは西高イレブンが、ウォーミングアップを始めている。

持てる力を出し切って最高のプレーを見せて欲しい。

「メガホンはもうないの?」予想以上に多くの方が各地から応援に駆け付けてくれ、応援グッズが足りず、うれし悲鳴である。

高らかなファンファーレと大きな歓声がスタジアムを包み、まもなく新居浜西、武南両校のイレブンが中央ゲートから入場。

さらに歓声は高まり、応援席では立ち上がる人が次々と。

いよいよ12時10分キックオフ。はつらつとしたプレーの連続に、こちらの手にも思わず力がこもる。

高校生らしいさわやかな姿に、応援団も士気が高まってきた。

サッカーは、すごい。

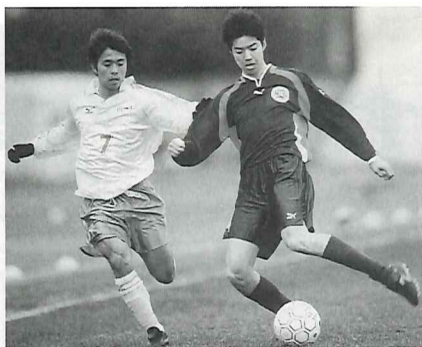
人の気持ちをこんなにも熱くする。「うわー、やったー!」後半26分、西高が初得点。

応援席は、総立ち、大拍手。

この瞬間を共有できた、これで充分満足。選手たち、先生方、感動をありがとう。

試合には負けただけで、地元の強豪校と対戦するプレッシャーにも耐え、ほんとうにすばらしいプレーに、賞賛を送りたい。

帰りのバスの中、談笑する人、静かに眠る人、窓の外を見つめ物思う人。おだやかに時は過ぎ、新しい年を迎えた。



(2、3頁の3枚の写真は、(株)ベースマガジン社提供)

大会出場までの道のり

平10年2月	県新人戦	優勝
平11年6月	県高校総体	優勝
8月	インターハイ出場	
	(2回戦敗退 0-3 武南)	
11月	選手権県大会	準優勝
平12年2月	県新人戦	準優勝
6月	県高校総体	ベスト8
11月	選手権県大会	優勝
1回戦	5-0	宇和島東
2回戦	1-0	八幡浜工業
準決勝	2-0	松山聖陵
決勝	1-0	南宇和

ATEC

プラント配管・機器設計の御用命は

有限会社 **アルファテック**

代表取締役 青野和文(昭和30年)

☎792-0011 愛媛県新居浜市西原町2丁目5番33号
芙蓉海運第2ビル
TEL (0897) 32-9318・32-9310
FAX (0897) 33-0559

部活動の歩み

サッカー部

厳しい中にも楽しさを！

僕らサッカー部は2年生13名、1年生32名、計45名が共に毎日放課後、汗を流しています。西高サッカー部は他の学校と比べると練習時間は短いです。しかし、そうした中僕らはプレーに集中し、内容の濃い練習をしています。部員の元気なあいさつが飛びかう中グラウンドに集まると無駄な時間を過ごすことなく、ストレッチを始め、2人組のパス、ボール回し、シュートなどの練習を毎日繰り返します。こうした繰り返しの練習を日々重ねていくことでチームが強くなっていくことを僕らは知っています。それを教えてくれるのも数々の死闘を重ね、西高サッカー部を全国大会へ導いた伊藤栄一先生です。

伊藤先生は陽気な親父(?)のとても明るい先生です。サッカー部は他の部よりも笑い声が多いと思います。もちろん決してふざけているわけではありません。伊藤先生の得意の親父ギャグで僕らの笑顔はつきることなく、そして楽しい雰囲気をつくってくれます。しかし、試合中でのここぞという時のアドバイスは的確で、僕らのことをよく見てくれています。トレードマークは白髪混じりの坊主頭で、すぐ分かるでしょう。気軽に声をかけると素敵な笑顔であいさつを返してくれると思います。西高サッカー部のモットーは「楽しく」ということです。僕らは

サッカーが好きで集まった集団です。厳しい練習の中にも楽しくサッカーをしている時が何よりも幸せを感じる時間だと思っています。夏の暑い日も冬の寒い日もサッカー部独特のハイテンションで仲間と共に汗を流します。しかし、西高生という自覚をもち、勉強もおろそかにしません。部活が終わると塾におわれて大変ですが、皆部活と勉強の両立を目標としています。

僕らは去年、多くの方々の支援のもと夢の全国大会へ行くことができました。晴れ舞台での先輩達の姿から多くのことを学ぶこともできました。しかし、これで満足せず、来年、再来年とどの年も強豪と呼ばれるチームとなり、初心を忘れずに日々精進していきたいです。まだまだ僕らはいろいろな面で未熟です。試合の始まりと終わりのあいさつをきちんとし、またグラウンドの外や学校生活でのあいさつもできるようにしていきたいです。そして、他のチームから目標とされるようなチームになりたいです。

ここで、ひとつお詫びしたいことがあります。練習前、壁に向かってボールを蹴っていますが、下校中の帰宅部のみなさん、またランニング中の他の部の方々、決して狙っているわけではありません。もしボールがあたって痛い経験をした人は本当にすいませんでした。(部長 神野大樹 2年 記)



FASHION SPACE
KIJIYA

紳士服・婦人服・学生服
各種企業ユニフォーム

株式会社 **キジヤ**

代表取締役 岡崎 克也(昭和48年)
新居浜市若水町1-9-17(サンロード)
TEL(0897)37-2525 FAX37-2621

写真部

その一瞬に思いをこめて



私たち写真部は、運動部のように、毎日血のにじむような練習をしているわけではありませんし、他校との試合で白熱戦を繰りひろげているわけでもありません。しかし、私たち写真部には、私たちにしかできない大切な仕事があります。思い出の瞬間を、写真として形に残すことです。

写真部の1年間を通しての活動の中心は、何といっても運動会です。我が西高の運動会は、新居浜市の中でも伝統的で盛り上がることで有名です。西高生にとっても1年のメイン行事です。短い期間の間に、朝早くから暗くなるまで、毎日練習を重ねた結果を、運動会本番の日ですべて出しきるわけです。その姿を、競技中にトラック内に入っただけでカメラに収めることができるのは、「写真部」の文字の刺繍の入った腕章をした写真部員だけです。運動会の思い出の間を、間近で写真に残すことができるのは、写真部員だけなのです。西高生が最も輝く行事である運動会は、写真部員にとっても、最も輝く行事になるというわけです。

とは言っても、運動会の写真を撮ったら撮りっぱなし、というわけではありません。毎年運動会の後に行なわれる文化祭で、撮った写真を一般生徒に公開し、購入してもらおうのです。その売り上げを、フィルム代や現像代の足しにするのです。

しかし、今年の文化祭は例年とは違って、運動会前の6月の中旬に行われるので、運動会で撮った写真を売ることができません。そこで、今年の文化祭では、運動会の写真の代わりに写真作品の展示のみを行う、ということになりました。というわけで、各員もそれぞれの作品展示に向けて、やる気に満ちている次第です。

そんな写真部も、去年の冬にはとうとう全国にまで活動の場を広げました。全国高校生サッカー選手権大会に初出場する我が西高サッカー部の勇姿を、東京まで撮りに行くという大仕事を任せられたのです。300ミリ、つまり10倍ズームの一眼レフのカメラを構え、グラウンドを走り回る選手や、熱気にあふれた応援団を、写真に収めたのです。おそらく、写真部始めて以来の偉業です。写真の出来栄えはさることながら、わたしたちは達成感でいっぱいです。できれば、もう一度、このような大仕事を写真部にまかせていただきたいと思っています。

写真部はこれからも、運動部にも負けないやる気と、根気と、元気で頑張っていきたいと思っています。もちろん、今年の運動会も例外ではありません。各競技中に運動場を見渡してみてください。必ずどこかにカメラを構えた写真部員がいるはずです。選手の応援と一緒に、写真部のほうも応援していた



全国高校サッカー選手権大会 (写真部 作品)



だければ光栄です。サッカー部の応援での全国進出を経て、カメラの性能、腕前とともに、一回りも二回りも大きく成長した写真部の活躍を、どうぞご期待ください。

(部長 木山佳香 3年 記)



ハローランチいけちゃん 有限会社 池田食品工場

庄内町3丁目11番24号(南中学校南へ100m) ☎33-8311(代)
フリーダイヤル 0120-218014

池田(福田)睦子(昭和29年) 池田 一夫(昭和54年)

ニイハマイチヨ

母校の概況

Niihama-Nishi High School

▼教職員の異動

平成13年度の教職員異動は次のとおりです。

(教科)	(転出者)	(転入者)	(前任校)
教頭	吉本 擴	退職	木村 昌雄 新工
教頭	龜岡 謙治	松東 酒井 正文 野村	
国語	玉井 啓二	退職	渡邊 夏実 川江
地理	徳永 義輝	弓削 藤本 充	今西
地公	尾藤 義久	古見総一郎	高野中
数学	逸見 寛二	土居 河野 晋司	西条
理科	野田 隆	片岡 誠志	(新採)
理科	泰 貞子	退職	村上 翼 今東
理科	戸田 義昭	退職	石村 健二 松東
理科	近藤 俊彰	川江 二宮 邦彦	西条
体育	亀井 弘任	退職	星加 修史 伯方
英語	寺岡 正夫	丹原 井川 紀英	弓削
英語	工藤 伸二	松東 星加 啓子	西条
家庭	浦川 朱美	三島 加藤 美紀	西条
事務	高木ひとみ	今西 白石 知子	(新採)
業務	飯尾 昇	新南 越智 慎二	新工

▼15名の同窓生が 母校の教壇に立つ

(氏名)	(卒業年)	(教科)
斎藤美智子	S 39	実習助手
津村 和芳	S 46	国語
松本 温子	S 46	英語
石川美千子	S 47	国語
鴉 裕子	S 49	国語
村尾 淳	S 52	地理
岡田 緑	S 52	養護
井上 邦智	S 55	国語

▼大学合格一覧

最近3カ年の総合合格者数と、大学別合格者数の一部を紹介しておきます。

	11年度	12年度	13年度
国公立大	203	221	187
私立大	457	405	375

北海道大	1	0	1
東北大	2	2	1
筑波大	2	4	1
東京大	0	4	0

渡邊 夏実	S 55	国語
星加 修史	S 58	体育
古見総一郎	S 60	地理
星加 啓子	S 60	英語
五味 稔	S 61	数学
井川 紀英	S 63	英語
山中 達也	H 2	国語

▼母校に赴任して

国語科 渡邊夏実

「紫煙る石鏡の 高き理想を抱きつ つ」新任式の日、真新しい体育館で校歌を口ずさみながら、いつものまに私自身、目の前に整列した紺色の制服に身を包む西高生の一人に戻っていました。

歩く度ミシミシ音がする木造の二階の教室(天井に大きな扇風機が付いていたような)、先生方のユーモアあふれる授業のシーン、「解法のテクニク」(数学)の提出に四苦八苦したこと、野球応援で着た真っ赤なTシャツ、ピンクレディーの新曲の振り付けをクラスの女子で練習したこと、放課後のおしゃべり……。懐かしい!すつと思いつくことになったのが不思議なほど、20年も前のさまざまな出来事が一度に胸の中に押し寄せてきました。

久しぶりに足を踏み入れた母校は、緑と花の美しさが印象的でした。校内を歩くと、色とりどりの花が、木々の間を渡るさわやかな風が心を和ませてくれます。園芸部顧問の先生や生徒、職員の方々が丹精込めて育ててくださっているもので、こんな素敵な環境の中で過ごせる生徒たち(もちろん私も)は幸せです。

部活動の掛け声や楽器の音色が遠くから聞こえてくる放課後の教室では、授業時と違ったいろいろな会話を生徒

と交わすことができます。その日その日を大切にひたむきに頑張っている生徒たちとともに、私も西高での日々を楽しく前向きな気持ちで過ごしていきたいと思えます。

▼年間行事計画

今年度より、前期・後期の2期制になりました。

3	1	12	10	9	7	6	5	4	月
20	2	1	29	19	5	10	3	2	1
後期終業式	卒業式	3年学年末考査	大学入試センター試験	Ⅳ期考査	Ⅲ期考査	後期始業式	前期終業式	運動会	行事
(7日)	(31日)	(20日)	(10日)	(16日)	(10日)	(16日)	(10日)	(16日)	入学式・前期始業式
									1年生集団宿泊研修
									(26日 大洲青年の家)
									PTA総会
									I期考査
									(23日)
									県総合体育大会
									(4日 松山市)
									西高祭
									II期考査
									(30日)
									I・3年生 II期考査
									(6日)
									2年生修学旅行
									(6日)
									前期終業式
									前期終了休業日



ASTIS Co., Ltd.

私たちは健康関連産業の一員として、
地域の人々の健康と豊かな社会生活の向上に貢献いたします。

店頭登録番号 9811

株式会社 アステイス

本店 / 〒792-0893 愛媛県新居浜市多喜浜67番地173

TEL.0897-46-2500(代) FAX.0897-46-0350 ホームページ <http://www.astis.co.jp>

支社 / 徳島 香川 愛媛 高知
営業所 / 徳島 鴨島 池田 高松 普通寺 新居浜 今治 松山 大洲 宇和島 安芸 高知 須崎 幡多

男子100M自由形 表彰台独占!!

6月1日から4日にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも179名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は以下の通り。

◆水泳

6月16、17日 実施

男子50m自由形 1位 神野洋行

2位 増田大将

100m自由形 1位 浅木剛紀

2位 神野洋行

3位 増田大将

100mバタフライ 1位 浅木剛紀

4位 慶尾典子

400m自由形 7位 慶尾典子

7位 平田恵美

100m平泳ぎ 7位 平田恵美

(全員四国大会出場)

◆バレーボール

男子一回戦 新西2-1 宇和

二回戦 新西0-2 今工

女子一回戦 新西2-0 松東

二回戦 新西2-0 吉田

準々決勝 新西0-2 新東

◆バスケットボール

女子一回戦 新西101-52 南宇

二回戦 新西98-52 東温

準々決勝 新西69-98 宇東

◆バドミントン

男子団体

二回戦 新西1-3 松東

女子団体

一回戦 新西3-1 弓削

◆卓球

男子団体

一回戦 新西0-3 新田

女子団体

一回戦 新西3-1 松中

二回戦 新西0-3 済美

◆ソフトテニス

男子団体

一回戦 新西2-1 宇南

二回戦 新西1-2 三島

男子個人

ベスト16 近藤・曾我部ペア

(四国大会出場)

女子団体

一回戦 新西0-3 津島

◆ハンドボール

男子二回戦 新西17-30 松東

◆陸上競技

女子走り高跳び

第4位 河端裕美

(四国大会出場)

◆柔道

男子団体

一回戦 新西0-5 津島

◆剣道

男子団体

二回戦 新西5-0 伊農

三回戦 新西0-4 新田

男子個人

準優勝 一色陽平

(全国・四国大会出場)

◆弓道

男子団体

予選 9位

個人 小野智晴

4位 山根良太

6位 山根良太

女子団体

予選14位

(四国大会出場)

◆登山

男子団体

7位

女子団体

4位

◆創作ダンス

「風の漂泊者〜石川啄木〜」第3位

株式会社 ファーストステップ

代表取締役 栄 真須美 (昭和44年)

東京都世田谷区代沢1丁目14番3号

電話 03 (3419) 0201

FAX 03 (3419) 2083

First Step

住まい探しのパートナー

東京に進学の方お気軽にご相談ください。



新居浜の動き

新居浜の未来に何が見えますか？

第4次長期総合計画策定

現在、私たちを取り巻く市町村という身近な行政区域も、「平成の大合併」と呼ばれる新たな行政区域の枠組みづくりが進んでおり、より住んでみたい、また住んでよかったと思えるまちづくりのための「都市間とおしの知恵比べ」が重要となっております。

このような中、21世紀を新市長で迎えた新居浜市でも、まちづくりの都市づくりの理念や将来の目標、都市像など新居浜市が目指す新しいまちづくりの基本方針である「長期総合計画」が策定されました。

長期総合計画は、今後10年間の方針を示したもので、新居浜市としては昭和47年に第1次の計画を策定以来、第4次となるもので、今年度から平成22年度までの計画となります。計画づくりにあたっては、社会情勢を分析し、

- ① 少子高齢化と男女共同参画の進展
 - ② 国際化の進展
 - ③ 高度情報化の進展
 - ④ 地球環境問題の深刻化
 - ⑤ 産業構造の変化
 - ⑥ 価値観及び生活様式の多様化
 - ⑦ 広域的な交流連携
 - ⑧ 自己責任社会の進展
- の8点をまちづくりを取り巻く新たな潮流と課題としてあげられています。

このような課題を抱える中、新居浜市においては、市民が主体となつたまちづくりを進め、市民一人ひとりが新居浜に住んで良かったと心から感じ、誇りに思うことができるまち、人間と自然を尊重しつつ瀬戸内の拠点都市として文化の薫る活力あるまちを、市民一人ひとりのエネルギーを結集した生涯学習によるまちづくりをおし、創造するため、「共に創ろう」「心と技と自然が調和した誇れる新居浜」を目指すこととされています。

また、この都市像を実現するため、次の6つの目標をたてられています。

- ① 魅力あふれる交流連携のまちづくり
- ② 人と自然が調和した安心で快適なまちづくり
- ③ 健康で、生きがいとふれあいがふれるまちづくり
- ④ にぎわいと活力にみちたまちづくり
- ⑤ 豊かな心と創造性を育むまちづくり
- ⑥ ともにつくる自立したまちづくり

学校給食センター完成

市内の10校の中学校のうち、東中、大生院中を除く、8つの中学校の生徒・教職員、約3600人を対象とする給食を実施するための給食セン

ター（鉄骨造り2階建て2232・15㎡、総工費約1億円）が瀬戸町に完成しました。

中学校給食は、核家族化や女性の社会参画の進展などの社会環境の変化や、個々の食生活が多様化し、朝食抜きの登校や偏った栄養摂取、肥満などの健康問題の解決に役立ったため、実施されます。

この給食センターは、安全な給食づくりを目指し、食中毒等の防止のため、床が濡れて細菌が繁殖しないための「ドライシステム」の導入、各区域ごとに洗浄消毒室を設けるなど、様々な工夫がされています。

また、小学校給食と違って、中学校給食は従来の昼食であった弁当との選択ができるとともに、アレルギー体質の生徒に対応するためのアレルギー給食も実施されます。



皆さんおいしそうに食べていますね

さくら薬局
SAKURA PHARMACY

薬剤師 蝶野基晴 (昭和49年)

宝石の蝶野

労災病院東どなり
〒792-0863 新居浜市南小松原町13-35 TEL (0897) 37-1177 FAX (0897) 37-1277

〒792-0004 新居浜市北新町1-1
TEL (0897) 33-1155 FAX (0897) 32-8155

温かい人、

真鍋博さんを偲ぶ

私が高校1年の5月、3年生の真鍋博さんからモデルになって下さいと言われ、簡単に引き受けました。モデルは大変で、1日かと思つたら何日も続きました。一緒に描いて下さった飯尾先生と松田雅夫さんは私を可愛く美人に描いていましたが、真鍋さんの絵を見て驚きました。(右) すこいブスです。私は我が儘なのでモデルを止めると申しましたら、出世したらモデル料を払うと言うので続けました。

3年生のお別れ会で私が独唱をして壇を降りると、真鍋さんが待っていてあの絵で賞をとったことを知らせてくれました。絵は校長室に飾られ私は何度も見に行き、父を連れていったこともあります。新しい校舎になると絵は無くなっていました。今、私の手元には松田さんの奥様に頂いた「Hisashi-1958」のサインの入ったその絵のカラーコピーがあります。飯尾先生の絵



略年譜

- 昭和7年 別子山村で生まれ、新居浜市で育つ
- 昭和26年 新居浜西高等学校卒業
- 昭和29年 現、多摩美術大学卒業
- 昭和30年 23才、池田満寿夫らと「実在者」を結成
- 昭和39年 32才、ニューヨーク世界博日本館の壁画制作
(これ以降、モントリオール世界博、大阪万博、沖縄海洋博、科学万博など多くのイベントの企画、デザイン、ポスター制作)
- 昭和41年 34才、「絵で見る20年後の日本」に73枚の絵で日本の未来社会を予想
- 昭和49年 42才、星新一の作品集の装丁
(これ以降、筒井康隆らの挿絵や装丁を手掛ける)
- 昭和50年 43才、「真鍋博Original 1975」を講談社より出版(以降多くの出版)
- 昭和53年 46才、国際児童年記念切手をデザイン
- 平成6年 62才、アニメーション「潜水艦カシオペア」制作
- 平成12年10月31日 68才、没

作品(新居浜近郊)

- 松山新空港のモニュメント
- 高松市福祉会館の壁画
- 新居浜市中央公園のモニュマン陶板
- 山根公園温水プールの壁面装飾
- 上部児童センターの外壁デザイン
- 愛媛県西条地方局ホール壁画

堀 奈智子
(昭和28年卒、旧姓・真鍋)



お葬式の席で、著名な方々の弔問の中で石川喬司さんが郷里の誇りと言っていました。西高の誇りです。ご冥福をお祈りします。

は卒業生がお買いになったそうです。平成元年に東京樟樹会が発足し名簿を作ることにになり、何かメインになるものが欲しいと皆で考えた末、そうだが私が真鍋さんにあの時のモデル料で表紙を描いて頂くと言ったのですが、もう有名になった真鍋さんは私のことなど忘れて描いてくれないと誰もが思っていました。

電話をして旧姓を言うと「ナツチャンか」と覚えていて、モデル料のことを話すと大声で笑って「何を描いて欲しいの?」、私はお祭りキチだから太鼓台の絵を希望しました。出来上がる、手前に太鼓台、向こうに東京タワーとビル街、まさしく東京樟樹会です。

伊東の一碧湖の近くの池田二十世紀美術館で個展が開かれ、後輩の目下部分さんと泊りがけて見に行きました。広い会場を埋めた大作の数々、未来感覚に溢れたイラスト、35年前に描いた作品が現実の世界となった驚き、発想の凄さ、色彩の美しさ、私の好きな「日本円島」、細密な未来都市。真鍋さんの絵には真面目な人柄の中にユーモアと温かさがあり、宇宙や海底まで空想の世界ではなく手の届く未来が描かれていました。画集「真鍋博の世界 80/160と81/160を二人で買いました」が、私が主人の仕事で外国へ行くことになりそのままになりました。

一緒に描いて下さった松田さんがお亡くなりになり、新宿で遺作展が開催されました。日本航空のツルのマークを作った人です。「松田君の個展を新居浜で開きたい」と真鍋さんに頼まれて、すぐに新居浜に行き美術館の館長さんにお会いし日程を決め、搬送費は市役所の先輩にお願いして、開催する運びとなりました。真鍋さんは非常に喜ばれて「僕がすることなのにスマンスマン」、本当に温かい人でした。



世界のワイン

株式会社 **長野酒店** 有限会社 **長野ビル**

新居浜市若水町1-8-4 電話 33-3232(代)

代表取締役 長野文彦 (昭和41年)

本部だより

【平成13年度事業計画(案)】

- 3月28日 樟樹編集委員会(「樟樹」12号印刷所承認・概要相談)
- 4月16日 樟樹編集委員会(「樟樹」12号原稿依頼先および責任者決定)
- 5月18日 会計監査(平成12年度会計帳簿類)
- 6月6日 第1回常任理事会
- 7月6日 第1回常任理事会
- 7月11日 第2回常任理事会
- 7月18日 第2回常任理事会
- 7月25日 第2回常任理事会
- 8月16日 第3回常任理事会
- 8月31日 第3回常任理事会
- 9月4日 第3回常任理事会
- 9月16日 第3回常任理事会
- 9月19日 第3回常任理事会
- 9月21日 第3回常任理事会
- 9月25日 第3回常任理事会
- 9月28日 第3回常任理事会
- 9月31日 第3回常任理事会
- 10月4日 第3回常任理事会
- 10月6日 第3回常任理事会
- 10月11日 第3回常任理事会
- 10月18日 第3回常任理事会
- 10月25日 第3回常任理事会
- 10月28日 第3回常任理事会
- 10月31日 第3回常任理事会
- 11月4日 第3回常任理事会
- 11月6日 第3回常任理事会
- 11月11日 第3回常任理事会
- 11月18日 第3回常任理事会
- 11月25日 第3回常任理事会
- 11月28日 第3回常任理事会
- 11月31日 第3回常任理事会
- 12月4日 第3回常任理事会
- 12月6日 第3回常任理事会
- 12月11日 第3回常任理事会
- 12月18日 第3回常任理事会
- 12月25日 第3回常任理事会
- 12月28日 第3回常任理事会
- 12月31日 第3回常任理事会

事務局長就任の 「あいつ」



大條 雅久

私、昭和47年春の卒業です。来年が卒業30年の節目となりま

す。同窓会の学年理事は70周年記念事業以来です。15年目を迎えました。今回の事務局長就任、自分の仕事の機会をぬって事務局に顔を出す「ボランティア事務局長」で果たしてやり切れるか正直不安がいっぱいなのですが、今井事務局員や副事務局長(津村先生・鶴先生)の助けを借りて一生懸命勤めますので、同窓会会員皆様のご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

おんごの不思議

松山樟樹会会長 新名英司

「おてつないで 野道をゆけば みんなかわいい 小鳥になつて...」お馴染みの童謡の一節です。

実は、松山樟樹会の総会・懇親会では、この「くつが鳴る」(清水かつら作詞、引田龍太郎作曲)でフィナーレを飾ります。不惑の人も還暦を迎えた人も、時を越え世代を超えて、手に手をつないでの大合唱です。幼

しさもあります。安らぎと連帯感が生まれます。現代人が忘れかけているものが蘇ってくるようです。

松山樟樹会では第5回総会・懇親会を平成12年11月18日に開催したところ。長野文彦・樟樹会会長、南武夫・校長のほか恩師も多数ご出席いただきました。

この年、西暦2000年はミレニアムとかで、新しい1000年の始まりを祝う行事で世界中が盛りあがりしました。そして平成13年の今年は21世紀スタートの年。私たちが100年とか、1000年の大きな時代の節目に生きていることは本当に不思議な気がします。新居浜西高を「共通のきずな」として、そして愛媛の、中予地域に暮らしていることもまた、出合いの不思議さを感じます。いろんな人生があり、考えもあるでしょうが、集散・離合も何かの縁。青春は、もう一度その時代にかえることはありませんが、いつになつても、その人のものです。

松山樟樹

会は、いつでも、どこでも、だれとも気楽に集える「出合いの場」になれ



— 総会及び懇親会のご案内 —

日時 8月4日(土) 総会 17時30分開会 懇親会 18時30分から
場所 新居浜市泉宮町5番8号 ユアーズ コープ
会場 3,000円 会員券発売中

当日も受付ます。お気軽にご参加下さいますようお願いしております。

同窓会運営費を考える

ご意見を求めます

同窓会会長

長野 文彦

同窓会本部のお世話をお引き受けして以来、世の中の変化の早さに柔軟に対応できる本部組織の確立に注力してまいりました。

特に本部基本財産の整理と共に同窓会活動の活性化が主要なテーマでした。

今回報の貴重な紙面を割いて頂きましたのは、同窓会の運営が大きなジレンマに直面していることを会員の皆様に知っていただくと共に幅広いご意見を賜りたいと思うからです。

現在、同窓会の運営財源は毎年の卒業生から納入される「終身会費」にその全てを依存しています。

ところが昨今の少子化のため収入金額に減少傾向がみられ、今後この傾向は益々顕著になるであろうと予測されています。

加えて同窓会の活動が活発になれば当然支出は増加致します。

このところの総会、懇親会への参加者が激増していることから充分ご理解を頂けると思っています。

賛助金について

同窓会事務局長

大條 雅久

そこで賛助金という形で全国の同窓生から年会費の徴収を図れないかと提案する次第です。私達と同じシステムで運営財源を得ていた他校の同窓会でも同様の理由から年会費の徴収に踏み切っているようです。

しかし会費を徴収することによって、卒業生は誰もが等しく同窓会の会員であるというオープンな性格が薄れるというご意見や卒業時に終身会費を納めているのだから試案には反対であるとか目的を達成できるだけの会費の納入は困難であるなどのご意見が既にあることも事実です。

同窓会本部としては組織の存続にかかわると言っても過言ではない重要案件ですので可能であれば13年度の総会に議案の提出をしたとと考えています。

皆様からの建設的なご意見をお待ちします。

同窓会事務局

<http://www1.ocn.ne.jp/~kusu/>

メールアドレス

kusunoki@opaz.ocn.ne.jp

現在の西高同窓会が解決すべき幾つかの課題のうち是非とも今年度中に考えていただきたい事を提起させていただきます。それは同窓会の活動財源です。これまで同窓会の会費収入は卒業生がその在校期間に払い込む会費のみでほぼ運営されてきましたが、少子高齢化の議論を待たずともなく、このままでは会計が立ち行かなくなるのは明らかな状況です。確かに卒業時に一括して払い込む会費を「終身会費」とする事で一生涯、西高同窓会のメンバーシップを失わないという点など現行のシステムにも良とすべき点多々あるのですが、今後は卒業後の同窓会員にも同窓会運営費の負担の協力をお願いする仕組みを作っていくかなければならないのではないのでしょうか。

同窓会の存続だけを目的としたシステムなどはナンセンスで、もちろん検討には値いたしません。これまでの西高同窓会がそうであったように今後の西高同窓会も、「まず、生徒のために・母校のために、何をすべきか何をやる事が出来るのか」を考え、実行していく存在でありつづけるための仕組みを作るといふことです。

昨年のサッカー部全国大会出場に際しての体育文化育成会の募金活動は、父母の会をはじめOB会・PTAその他大勢の方々のパワーが集まった成功でしたが、その活動を支える同窓会組織があつてこそスムーズに事が運んだのも事実です。「いざ鎌倉」の言葉にもありますように、同窓会組織が常日頃継続的に維持されている事で、ここぞという時の大事に対応できるのだと考えます。

そこで脆弱になりつつある同窓会運営費の負担を卒業後の同窓会員の皆様にお計りしたいのです。同窓会費（入会金）は卒業時に全員払い込んだ事になっておりますので、「賛助会費」もしくは「協賛費」といった名称で運営をしては如何でしょうか……同窓会全員が揃って協力とはいかないでしょうが、出来るときにそれに協力いただくという形でスタートする事を提案いたします。

「何もしなければ毎年350万円の資金が残り、生徒のために使える」という意見を述べられた会員もいらつしやいましたが私は賛同いたしかねます。もちろん西高同窓会の存在意義の第一は「今現在の母校の生徒に役立つ事を成す。」という点にあるのですから、

西高祭に新名(迷)物 “合格タコ焼き”

平成13年6月19日の西高祭で、同窓会長はじめ30余名の同窓会員中心のボランティアによるバザーを行い、タコ焼き・焼きそば・ラムネを販売しました。昼前から雨が降り始めたにもかかわらず、行列ができるなど予想外!?!いやいや予想通りの大盛況、大成功でした。みなさん、ご協力ありがとうございました。



焼きました。650食分

会員からの便り

還暦を迎えて——

小林康宏（昭和35年）

高校卒業以来41年があつたという間に過ぎ、気がつけば私達も還暦を迎える歳になります。多感な青春時代の3年間で良き恩師や友人達と共に、新居浜西高校で学ぶことが出来た幸運を感謝せずにはいられません。数学の仁田先生に授業中よく教えられた「君達は紳士たれ、淑女たれ」の校風は、今も玄関に英文で石のプレートで埋め込まれ、脈々と受け継がれている様です。

私達昭和35年卒業生は約35名（普通科）で、卒業後10年余り経過したころ、今は亡き曾我部優彰君が中心となり、新居浜西高三四会が設立され、今尚家族の様な絆で結ばれております。地元新居浜の他、近畿三四会、関東三四会があり、定期的に集まって交流親睦を深めています。

一昨年は白石高啓君が中心になり「今青春」と題して文集が発刊されました。恩師、会員の近況報告、人生観、趣味等々多数の投稿があり立派なものが出来あがりました。

最近では昨年の忘年会で、「還暦を記念して2回目の修学旅行をしませんか」との話が持ち上がり、早速希望者を募った所、男性15名、女性25名の参加希望があり4月13日〜15

日の間、全国各地から40名の会員が沖繩に集まりました。海や空の美しさ、咲き乱れる花々等、自然の美しさに感動したり、ひめゆりの塔に代表される太平洋戦争の残こした傷跡に涙する人も多かつた様です。何にも増して高校時代に帰って話したり、唄ったりで大き過ぎた旅行でした。帰途「3回目の修学旅行を又やりましょう」の声が多く出され、再会を期し那覇で解散しました。

私達はこれから第二の青春時代を迎える人が増えてまいります。青春とは年齢ではなく、その人の精神で決まるという人がいます。自分のものとなる時間を如何に使うかで今からの人生を左右されることは言うまでもありません。友人、知人、先輩、後輩、等々の自分を取り巻く人脈の広さと深さが、これからの実りある青春を支えてくれると思います。助け合い、励まし合つて、いつまでも若々しく、美しく年輪を積み重ねて行きたいものです。三四会、樟樹会等の組織がこれからの青春時代で大きなウエートを占めて、私達を導びいてくれることでしょうか。

子曰く、60にして耳順う。未だ不惑の域を越えられず悶々たる状態です

が、耳順の域は何とかクリアー出来ればいいなあと思う今日この頃です。最後に好きな詩を一つ。

あ、なつかしき青春の
思いは永遠に褪むるなし
勤めの日にも戯れの
集いの日にも輝きて
旧りたる歳は亡ぶとも
實こそは残これ我胸に
その實をひしと護らまし
その實をひしと護らまし

同期会便り

昭和42年卒業生同期会

山内 仁（昭和42年）

昨年8月13日（日曜日）に、村上孝一先生、越智謙先生の御出席を賜り、同期生80名が、リーガロイヤルホテル新居浜に集いました。

4年前の第1回目は、4名の先生を含め、120名が参加しました。

人数は、減少したものの、今回初参加20名も交え、久しぶりの懐かしい顔に会い、昔話に、花を咲かせました。その後、参加者の殆どが、二次会のカラオケで、盛り上がりました。

今回、新しい試みとして、各テーブルに使い捨てカメラを配置し、そのテーブルの誰かが、責任を持って、



写された方に、郵送すると、いう事をやってみました。従つて、全体写真はありませんが、下田君のデジカメの画像が、eメール所有者者に、送られました。

前回にも、紹介しましたが、この同期会とは別に、東京では、毎年、20名から30名の規模で、同期会を開催しており、大阪では、たまゆら会が、活動しております。

次回同期会は、2004年、アテナ五輪の年、8月13日（金曜日）です。昭和42年卒業の皆様、今から参加の準備をしておいてください。



第10回 全国お手玉遊び大会

日時：2001年9月9日 9:30~15:30
場所：リーガロイヤルホテル新居浜
お問い合わせ：日本お手玉の会
新居浜市庄内町1-13-14 TEL (0897)36-0600 FAX (0897)36-0644

参加者募集

近畿くすのき会

第6回総会開催

平成13年6月9日京都の新都ホテルにおいて、新居浜から長野文彦樟樹会会長、南武夫校長が来賓として出席し、総勢80名で開催されました。

会則の変更、会計報告、役員改選等の議題を処理した後、懇親会の前に(株)ダスキン会長、千葉弘二氏の卓話があり、出席者全員が大きな感銘を受けました。



同期会のお知らせ

第8回西高300会

サンマル

日時 2001年11月3日(土) 午後5時
場所 コープ会館
新居浜市泉宮5-8

TEL 0897-33-3503

会費 12,000円

テーマ 「いま、青春のいろを語り」

※連絡先 徳永秀隆

〒792-0050

新居浜市秋生1432

TEL 0897-41-5059

昭和47年春の卒業生へ

前回の25周年は107名の参加と30数通の近況報告で大盛況でした。今回の30周年も開催地は新居浜で進めたいと思いますが、日程についてはできるだけ多くのご意見をお聞かせいただければと思います。前回と同じ正月が良いか、春とか夏といった他の日程で決めるのが良いか、ご意見をお寄せください。

S47年春普通科卒業生有志

※連絡先 藤田敬子

〒792-0050 新居浜市松原町10-13 アイクス松原店

大條雅久

E-mail daijou@me2.em.nitpnet.ne.jp

81年卒第2回同期会

日時 2002年1月2日(水) 午後6時集合

6時30分開始

場所 リーガロイヤルホテル新居浜

会費 8,000円(予定)

※連絡先 田坂嘉朗

TEL 0897-36-2068

E-mail tasaka@juno.ocn.ne.jp

松山樟樹会事務局変更

〒790-0065 松山市宮西1-9-22

ショベル味酒110号

宮崎司法書士事務所内

TEL 089-927-6773

編集後記

昨年末は高校サッカークラウド色でした。スポーツでも西高が全国区になりました。

3月の芸予地震はビックリしました。経験したことのない大きさに、裸足で外に飛び出し、収まってから恥ずかしさを感じたのは私だけでしょうか。

さて、「樟樹」も12号となりました。今号はやはり、全国高校サッカーの特集をというところで、同窓生紹介のコーナーはお休みさせていただきました。

前号で、同窓会のホームページを開発準備中である旨お伝えしましたが、すでにご覧いただいた方もいらつしやると思いますが、随時更新もされ、発信中です。是非ご覧になってください。

小誌の最大の目的は、会員間のコミュニケーションを図ることです。素人ばかりで編集していますので、まだまだ未熟ですが、皆さんからの便りでよりよい会誌にしたいと思っておりますので、情報・ご意見・ご要望・問題提起等、何なりとお寄せください。



編集委員会 (記念会館ロビー)

編集委員長 近藤 博司(昭44)

委員 藤本スズ子(昭18)

井上 和子(昭20)

世良 誠朗(昭26)

武田 信之(昭28)

安藤 正純(昭30)

下村 隆男(昭30)

藤田 石根(昭31)

桑原 征一(昭38)

長野 文彦(昭41)

近藤 司(昭42)

伏見 紀子(昭44)

石川美千子(昭47)

鴉 裕子(昭49)

安藤 寛和(昭58)

五味 稔(昭61)

越智 孝司(平2)

発行所 樟樹会

〒792-0024

〒792-0024 新居浜市宮西町4-46

TEL 0897-32-4331

FAX 0897-32-4331

発行者 長野 文彦

編集者 近藤 博司

印刷所 (株)サラト

発行日 平成13年7月16日